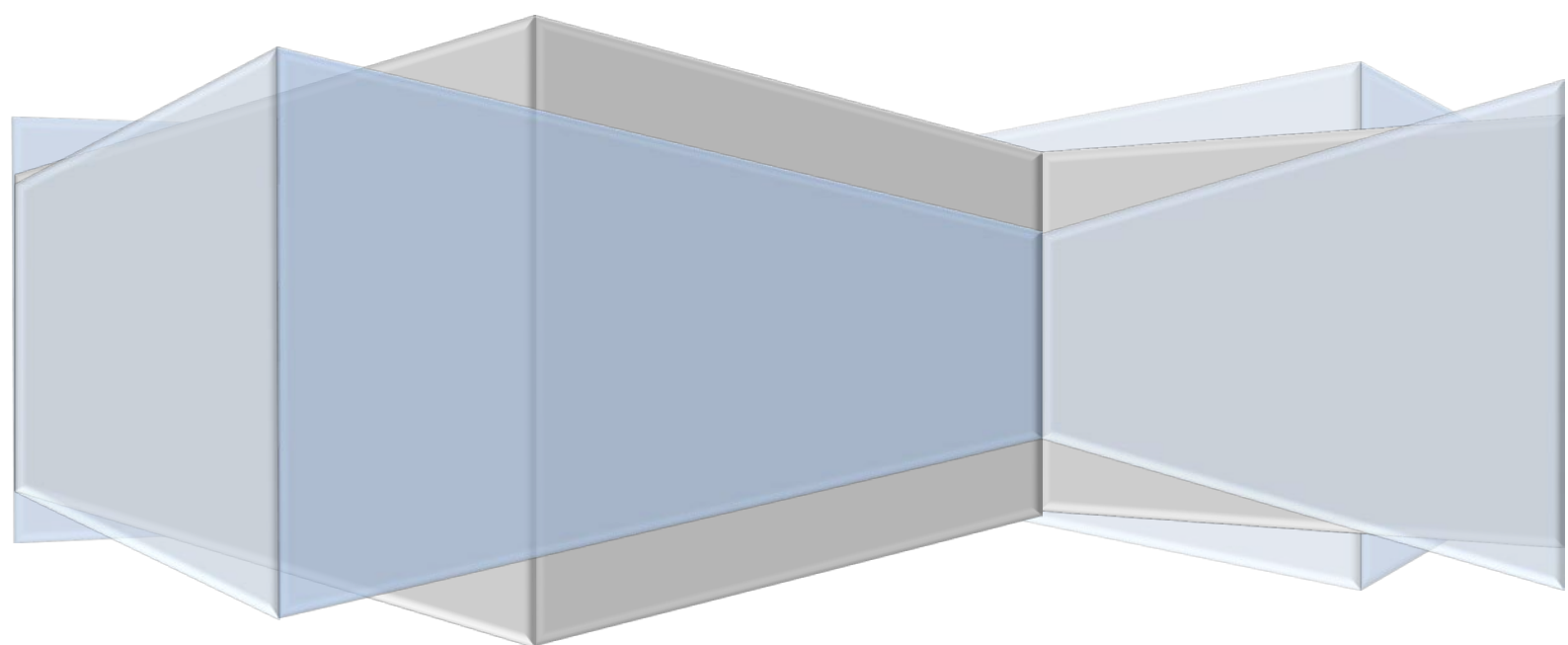


富山大学医療人教育室 2019年度報告書



医療人教育室報告書 2019年度

目次

室長ご挨拶

I 医療人教育室について

1. 教室概要
2. 室員紹介
3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室の設置に関する内規

II 各分野からの報告

医学科教務委員長 岸 裕幸
薬学部教務委員長 矢倉 隆之
看護学科教務委員長 長谷川 ともみ

III 2019年度活動報告

1. 医療人教育
2. 医療人教育室運営管理
 1. 医療人教育室運営会議
 2. 広報活動

IV 2020年度活動計画案

室長ご挨拶

富山大学杉谷キャンパスは、前身の「富山医科薬科大学」創立の理念「里仁為美」という「人に対する慈しむ心の教育」の伝統を、医学部・薬学部の強い連携により受け継いでいます。すなわち、「よき医療人を育成する」という両学部の共通理念から、医学・薬学・看護学を横断的に教育できる組織として医療人教育室が開設され、医学薬学教育部長が室長を兼任しています。

医療人教育室には5つのミッションが掲げられています。

- ①学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援
- ②医学、薬学、看護学の共通教育の連携
- ③医療人の教育及び研修機会の提供
- ④医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実
- ⑤国際交流に関連した人材育成

2018年度から1年次生は教養教育一元化となり、月曜日から水曜日までは五福キャンパスで一般教養教育を、木曜日と金曜日は杉谷キャンパスで各学科に分かれてそれぞれの専門教育を受けています。一方、医療人教育室が担当する1年次の「医療学入門」では、医学部（医学科、看護学科）と薬学部（薬学科、創薬科学科）の学生が一堂に会して講義・グループディスカッション・野外活動・実習など通して、医療者に求められるプロフェッショナルリズムの意識を持つこと、また多職種連携の重要性について理解することを目指しています。今後は、実際に臨床や研究を実践するようになる高学年においても継続的な医療人教育を行い、地域のみならず広く世界で活躍する優秀な人材の育成に努めていく所存です。今後とも、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

室長 足立雄一

I 医療人教育室について

1. 教室概要

医療人教育室は、学部教育、医療学教育、医療人教育、国際交流連携などの学務業務を全般に補完し、保健医療分野の人材育成を目的に以下の業務を行っております。

1. 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価と支援に関する業務
2. 医学・薬学・看護学の共通教育に関連する業務
3. 医療人の教育・研修機会の提供に関する業務
4. 医療・福祉に係わる教育資源の開発、維持、充実に係る業務
5. 国際交流に関連した人材育成に関する業務
6. その他医療人教育に関する業務

2. 室員紹介

室長	足立 雄一	医学部長、小児科学教授(医学科)
副室長	廣川 慎一郎	南砺・地域医療支援学寄附講座客員教授(附属病院)
室員	松谷 裕二	薬学部副学部長、薬品製造学研究室教授(薬学部)
	岸 裕幸	医学科教務委員長、免疫学教授(医学科)
	矢倉 隆之	薬学部教務委員長、分子合成化学研究室教授(薬学部)
	長谷川 ともみ	看護学科教務委員長、母性看護学教授(看護学科)
	安田 智美	成人看護学2教授(看護学科)
	石木 学	医師キャリアパス創造センター准教授(医学科)
オブザーバー		
	笹岡 博史	医薬系学務課長
	西尾 武	医薬系学務課 課長補佐
	濱田 紫織	医薬系学務課
	清水 由美子	医薬系総務課係長
事務補佐員		
	坂下 祥	

3. 富山大学杉谷キャンパス医療人教育室に関する内規

(目的)

第1条 富山大学杉谷キャンパスに、医学、薬学及び看護学の連携の基に医療分野の人材育成を体系的に進めるため、医療人教育の組織化を図ることを目的として、医療人教育室を置く。

(組織)

第2条 医療人教育室は、次の各号に掲げる室員をもって組織する。

- (1) 室長
 - (2) 副室長
 - (3) 医学部教授会及び薬学部教授会（以下、「各教授会」）から選出された教員 若干人
 - (4) その他室長が必要と認めた者
- 2 室長は、医学部長又は薬学部長をもって充てる。
- 3 副室長は、第1項第3号及び第4号の室員のうち、室長が指名する者をもって充てる。

(室員の任期)

第3条 第2条第1項の室員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の室員の任期は、前任者の残任期間とする。

(業務)

第4条 医療人教育室は、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の入学から卒業までの教育の一貫的な評価及び支援に関する業務
- (2) 医学、薬学及び看護学の共通教育の連携に関する業務
- (3) 医療人の教育及び研修機会の提供に関する業務
- (4) 医療及び福祉に係る教育資源の開発、維持及び充実にに関する業務
- (5) 国際交流に関連した人材育成に関する業務
- (6) その他医療人教育に関する業務

(称号の付与)

第5条 室員に、次の各号に掲げる称号を付与することができる。

- (1) 医療人教育室教育教授
- (2) 医療人教育室教育准教授
- (3) 医療人教育室教育講師

(称号の付与手続)

第6条 称号の付与は、各教授会の意見を聴いて室長が行う。

(称号付与基準)

第7条 各称号付与の基準は、次に掲げる者で医療人教育に優れた能力を有するものとする。

- (1) 医療人教育室教育教授 10年以上の医療人教育の経験を有する者又は特に優れた医療人教育の経験を有する者
- (2) 医療人教育室教育准教授 6年以上の医療人教育の経験を有する者
- (3) 医療人教育室教育講師 4年以上の医療人教育の経験を有する者

(雑則)

第8条 この内規に定めるもののほか、医療人教育室に関し必要な事項は、各教授会の意見を聴いて室長が別に定める。

附 記

この内規は、平成18年10月18日から実施する。

附 記

この内規は、平成19年4月1日から実施する。

附 記

この内規は、平成23年6月15日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年6月19日から実施する。

附 記

この内規は、平成25年9月25日から実施する。

附 記

この内規は、平成26年3月19日から実施する。

附 記

1 この内規は、平成28年1月1日から実施する。

2 この内規実施後、最初に選出される室員の任期は、第3条の規定にかかわらず、平成28年3月31日までとする。

附 記

1 この内規は、令和元年11月27日から施行し、令和元年10月1日から適用する。

2 この内規の施行日の前日において改正前の第2条第1項第3号の室員であった者は、この内規により医学部教授会又は薬学部教授会から選出されたものとみなす。ただし、任期については、第3条の規定にかかわらず、令和2年3月31日までとする。

Ⅱ 各分野からの報告

医療学入門に学んで

医学科教務委員長 岸 裕幸

日々の医療は、医師・看護師・薬剤師の連携の上に成り立っています。希望に満ちあふれた、また、しなやかな心をもった新入生の時期に、よき医療人になるために、「医療学入門」において、医学科・看護学科・薬学科・創薬科学科の学生さんがいっしょに机を並べて学ぶということは、非常に有意義なことです。専門に進むに連れて、4学科の学生さんがいっしょに学ぶ機会を作ることは難しくなっていくので、非常に貴重な体験と言えるでしょう。

私は、今年、初めて医療学入門の一部に関わらせていただきました。第12回の「医療と社会：難病と難病支援」、第13回の「医療と社会：患者と患者の家族の立場から」です。第12回は富山県難病支援センターの相談支援員の方と、難病をもつ患者さんからお話を聞かせていただきました。難病をもつ患者さんではありますが、いろいろ悩まれながらも、その難病と付き合いながら一生懸命に生きていこうという前向きな姿勢に、すごいと思い、自分がそのような立場になった時に同じように生きることができるか、と思いました。そして、学生さんたちは、そのような患者さんを支援するためによき医療人になることを深く心に刻まれたのではないのでしょうか。第13回は難病の患者さんとその家族の方からお話を聞かせていただきました。お母さんから、子供さんの病気がわかった時のショック、また、そのショックからいかに立ち直り、家族で前を向いて歩こうとしているか。また、関わった医師からどのように立ち上がる力をもらったか、ということ学びました。学生さんたちも、難病の患者さん、ご家族を勇気づけられるよき医療人になることを心に誓われたのではないのでしょうか。医学科の学生さんは、医師になるために、基礎医学・臨床医学の講義、また臨床実習と日々の学修に追われ、患者さんやその家族、また、その方たちを支援する方々の立場にたって病気を考えるということがおろそかになりがちです。よき医療人としての医師として、単に病気だけ見るのではなく、患者さんやご家族の気持ち、患者さんを含めたご家族の生活まで考えて医療に取り組むことが必要になってきます。この医療学入門で学んだこと、感じたことを一生忘れずに、よき医療人となるために日々研鑽に励んでいただきたいと思います。

薬学教育評価と医療学入門

薬学部教務委員長 矢倉隆之

我が国の薬学の歴史は明治期に始まる。明治になり、西欧から多くの医薬品が持ち込まれた。しかし、それらは玉石混交で、品質の悪いものも多かった。そこで、輸入医薬品の純度分析、純度向上、さらには医薬品製造を目的として、日本の薬学は創生し、発展してきた。現在では新薬を開発できる科学力を持つにいたった。世界で新薬開発が可能な国は日本と欧米のわずか数か国のみにすぎない。一方、医療においては、薬剤師は医師の処方した医薬品の適正使用や品質管理に力点を置いていた。すなわち、我が国の薬学では薬を主に「物質」としてとらえてきたのである。時は流れ、1990年代に医療法が改正され、薬剤師が「医療の担い手」とされたことから、薬学において「医療」の比重が高まってきた。薬剤師業務も大きく変わり、医療に参画し、患者とじかに接するようになった。現在の薬学では薬を「物質」だけでなく、「医療」としてとらえるようになってきている。富山大学薬学部では、主に「物質」としての薬を学ぶ「創薬科学科」と主に「医療」としての薬を学ぶ「薬学科」を設置して、薬学のさらなる発展と未来を担う人材育成を目指している。

薬学部（薬学科）では、医療の担い手である薬剤師を育成している。平成18年より6年制となり、全国共通のモデルコアカリキュラムを用いて学生を教育し、4年次終了時に共用試験（仮免許試験のようなもの）をおこない、合格者のみが5年次の約半年間の病院および薬局における実務実習に進む。実務実習では実際に患者さんと接するため、共用試験の合格をもってその知識と能力を担保している。そして、卒業研究によって科学力と研究能力、自己研鑽力を養い、卒業後、薬剤師国家試験を受験する。各大学がおこなう薬学教育が適正であるかどうか、薬学教育評価機構という第三者機関が評価するシステムが整っている。これは医学科や看護学科でも同じであり、医療従事者の教育に対し、厳しいチェックの目が光っている。

さて、本年度は、富山大学薬学部はまさしくこの薬学教育の第三者評価の受審の年であった。この第三者評価では、各大学が作成する「自己点検・評価書」による書面調査、その後の評価員による訪問調査と約1年かけて評価され、現在（令和2年2月末）は最終の「調査報告書」が送られてくるのを待っているところである。訪問調査時には、耳の痛い意見も少し出たが、こと「医療学入門」についてはお褒めの言葉をいただき、特に介護体験実習はきわめて高い評価を受けた。1年次に将来ともに医療に従事する医師や看護師の卵たちと一緒に実習をおこなうことは学生のキャリア形成にとっても良い影響がある、また、これからの高齢化社会における医療の未来を考える極めて良いきっかけになる。これは他大学ではほとんど類を見ない取組みであり、富山大学の薬学教育の大きな特徴の一つとしてアピールしている。それゆえ、今後もできる限り継続していきたい。

介護体験実習においては、受け入れてくださっている医療機関の方にはご迷惑をおかけしていると存じますが、今後も変わらぬご支援をお願いいたします。

2019 年度医療人教育室の活動について

医学部看護学科教務委員長 長谷川ともみ

2019 年度も多くの優秀な新入生を杉谷キャンパスに向かい入れました。新入生にとって、入学当初の大学での履修、生活は大きな期待とともに、不安もつきものであると推察しております。入学から卒業までの一貫した支援において、2019 年度は、本学での教養教育一元化に伴う履修方法についても整備され、学生の希望に叶う教養教育の講義受講がおおむね達成できました。教養教育においても専門科目担当教員が全学出動態勢で講義を担当しております。医学部看護学科では、現行では月曜から水曜が教養教育つまり五福キャンパスでの授業がメインとなります。木曜、金曜に関しては、杉谷キャンパスにて専門科目、専門基礎科目を履修することがメインとなります。教務委員長は教養教育企画実施委員会にも属し、看護学科生の履修が円滑にかつ、専門科目との連携が十分に取れるカリキュラムについて検討しております。

また、医学・薬学・看護学共通教育事業（共通授業や、介護体験実習）においては、医学科、看護学科、薬学科、創薬学科の学生が同時に受講できる医療学を入学当初から開講し、将来チーム医療に携わる医療人としての素地が形成できるように、著名人の講義、演習、立山研修、早期介護体験実習（アーリー-エクスポージャー）が組み込まれています。これは、医学薬学看護学の知識を習得する講義形態ではなく、演習・実習を通して、良き医療人とはどのような資質を持ち、既存の知識をいかに活用して、医療チームを形成して有機的に活動することが必要であるかを実体験することを目的としています。今年度は、実習施設を大学近辺に増やし、移動の負担を軽減しました。例年、実習中どうしてよいかわからなかったなどの感想もありますし、実習施設からの学生の態度についてのコメントもありますが、それらの疑問や失敗は今後、展開される専門科目、さらには就職後の職場環境においても少なからず経験することであり、「気づき」の連続が彼らの主体的な学習を育み、医療人としての必要な能力を身に着けていってくれるものと期待しています。レポートはポートフォリオとして、各学科で学生に還元しています。看護学科におきましては、2 年次基礎実習前に学生に手渡しております。

杉谷キャンパスでの「よき医療人を育成」という理念を具現化するために、医療人教育室が、上記のように入学から卒業までの一貫した評価と支援、医学・薬学・看護学共通教育事業（共通授業や、介護体験実習）、医療人教育・研修会機会提供、医療・福祉に係わる教育資源開発、維持、充実、国際交流に関連した人材育成を教育目標として活動しています。委員の先生方、事務方は、教育熱心であるとともに、学科を超えたバランス感覚、組織力をお持ちなので、私も大変勉強になります。一学科だけでは成しえない教育効果が発揮できているのではないかと考えます。

来年度も杉谷キャンパスには学生の明るい声が響くでしょう。一人一人の個性を引き出せるように今後も教育組織の協力体制をとっていく所存です。

Ⅲ 2019 年度活動報告

1. 医療人教育

医療人教育室では、医学・薬学・看護学の1年生が合同で学ぶ「医療学入門」授業のカリキュラムプランニングを担当しています。医・薬・看護の各領域の実務家教員による講義とともに、新入生医療学研修や心肺蘇生法講習、保健福祉医療施設における介護体験実習など、よき医療人としての基礎となる知識・体験が身につくようなカリキュラムとなるよう考慮致しました。

また、学生に対し授業についてのアンケートを実施し、来年度のカリキュラムの検討を行っております。

2019 年度 医療学入門授業内容

ユニット	内容	講師
1 医療学概論	医療学概論(医)	足立 雄一(医学部長)
	医療学概論(薬)	酒井 秀紀(薬学部長)
	あったか地域の大家族	惣万 佳代子 (NPO法人デイスサービスこのゆびとーまれ理事長)
2 新入生医療学研修	新入生医療学研修オリエンテーション	新入生医療学研修実施検討タスクチーム、教務委員会
	新入生医療学研修	新入生医療学研修実施検討タスクチーム、教務委員会
心肺蘇生講習	心肺蘇生講習	心肺蘇生講習タスクチーム、災害・救命センター、教務委員会
3 コミュニケーションとプロフェッショナリズム	医療倫理とプロフェッショナリズム	宮島 光志 (応用倫理学教授)
	医療と社会(医療人権)	山口 育子 (認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)
	コミュニケーションの大切さ	石木 学 (医師キャリアパス創造センター准教授) 山口 ひとみ (オフィスヤマグチ代表)
4 医療と社会	難病支援と難病患者の思い	浜野 保子 (富山県難病相談・支援センター相談支援員)、患者様
	患者家族の思い	患者家族様
	薬害再発防止のために	花井 十伍 (NPO法人ネットワーク医療と人権理事)
6 介護体験 実習	介護体験実習オリエンテーション	社会医学系講座
	介護体験実習	
	介護体験実習報告会	

2. 医療人教育室運営管理

1. 医療人教育室運営会議

約2ヵ月に1度運営会議を開催し、以下の内容について討議を行いました。

平成30年度 医療人教育室運営会議内容

4月	2019年度医療人教育室室員について	10月	介護体験実習について	
	2019年度医療学入門について		令和元年度医療学入門成績について	
	新入生医療学研修タスクチーム構成員について		令和二年度新入生医療学研修実施要項(案)について	
	2019年度新入生医療学研修スケジュール(案)について		富山大学(杉谷キャンパス)医療人教育室に関する内規の一部改正について	
	2019年度心肺蘇生講習について			
	医療人教育室2018年度報告書について		令和二年度イタイタイ病資料館見学について	
	医療学入門ポータルサイト返却について		12月	令和元年度前期全科共通授業評価アンケート集計結果について
	2019年度医療人教育室副室長の選任について			令和二年度医療学入門におけるイタイタイ病資料館見学(医学科)日程について
	2019年度医療人教育活動計画案について			
6月	令和元年度医療人教育室室員について	2月	令和二年度医療学入門について	
	令和元年度医療学入門について		医療人教育室2019年度報告書について	
	令和元年度新入生医療学研修について		第1回令和二年度新入生医療学研修実施検討タスクチーム会議(R1.1.8開催)について	
	イタイタイ病資料館見学アンケート集計結果について		令和元年度介護体験実習学生アンケート集計結果について	
	令和元年度医療学入門アンケートについて		令和二年度医療学入門について	
	令和元年度医療人教育室運営会議日程について		医療人教育室2019年度報告書について	
8月	令和元年度医療学入門出欠状況について	3月	令和元年度医療学入門成績について	
	令和元年度医療学入門アンケート集計結果について		令和二年度医療学入門について	
	令和元年度医療学入門成績評価について		令和二年度医療人教育室室員について	
	令和元年度新入生医療学研修アンケート集計結果について		一年次専門教育科目の令和三年度以降五福キャンパスでの実施検討について	
	介護体験実習について			
	介護体験実習事前アンケート集計結果について			
	来年度以降の医療学入門講義について		令和二年度医療学入門におけるイタイタイ病資料館見学計画について	

2. 広報活動

HPによる広報活動を行いました。

医療人教育室2019年度報告書を作成しました。

IV 2020 年度活動計画案

1. 医療人教育

医療学入門の教科担当

- ・カリキュラムプランニング
- ・成績評価
- ・授業アンケート
- ・立山新入生合宿タスク支援
- ・心肺蘇生実習タスク支援
- ・早期介護体験実習タスク支援

2. 医療人教育室運営管理

1) 医療人教育室運営会議開催

2) 広報活動

- ・ホームページによる広報活動
- ・医療人教育室報告書の作成

